



Press Release

日本ケミコン株式会社

2026年 5月22日

夜間視認性を大幅に向上させた「NCM12-FF」カメラモジュールを開発

このたび日本ケミコンは、広く普及している映像信号規格である NTSC 方式 において、夜間や薄暗い環境での視認性を 従来比約 4 倍向上させた新型カメラモジュール「NCM12-FF」を開発しました。

アナログ方式のビューイングシステムは現在も多数稼働しており、当社には「配線や設置スペースはそのままに、暗所や逆光でもより見えやすくしたい」という顧客要望が継続的に寄せられてきました。

当社としては、この既存インフラ (NTSC 方式) を活かしたいと言う顧客要望に応えるには、近赤外線 LED などの補助照明による視認性向上に頼っている現状が、製品サイズの大形化およびシステムを複雑にする等、実現する上での課題と捉えておりました。

そこで今回、その課題を解決するだけでなく、これまで蓄積してきた光学設計およびセンサー制御の技術を活用し、夜間視認性や逆光耐性を大幅に高め、製品サイズは従来サイズのままとした「NCM12-FF」を開発し、量産を開始しました。

《視認性の例》



NCM12-FF(NTSC 出力) (0.2lx 時)

>



当社既存カメラ(0.2lx 時)

※0.2lx は月明かり程度の暗さを想定した照度条件です

《製品概要》

		備考
製品名	NCM12-FF	
画素数	720 x 486	NTSC 準拠
外形	23 x 23 x 28 mm	ケーブル含まず
防水性能	IP67 相当	屋外設置可能

《生産拠点》

本製品は、車載品質に対応した国内生産体制のもと、新潟県長岡市のケミコンデバイス株式会社 長岡工場（当社 100%子会社）にて生産しております。

《製品外観》



以上